

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所6号機における
制御棒駆動系(1本)の不具合の復旧について

平成19年2月6日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所6号機(改良型沸騰水型、定格出力135万6千キロワット)は、定格熱出力一定運転中ですが、2月4日午後10時30分頃から運転中の定例試験(制御棒駆動系挿入・引抜き試験)を行っていたところ、1本の制御棒(全制御棒は205本)が動作しないことを確認いたしました。

このため、同日午後11時4分、保安規定に定める「運転上の制限*」からの逸脱を宣言いたしました。(平成19年2月5日お知らせ済み)

調査の結果、原因は制御基板の一部の故障によるものと判明したため、当該基板を交換し、本日午前11時、「運転上の制限」を満足していることを確認いたしました。

なお、当該制御棒については、挿入・引抜きの動作確認を行い、健全性を確認いたしました。

以上

*：運転上の制限

保安規定では原子炉の状態に応じて、「運転上の制限」や「運転上の制限を満足しない場合に要求される措置」等が定められており、運転上の制限を満足しない場合には、要求される措置に基づき対応することになっています。